

サタデーアピール白衣宣伝を実施 -東京医療関連協-



↑2月23日新宿南口にて

署名2種224筆 &カンパも寄せられる

東京医療関連協（東京医労連と都立病院のなかま等で構成）は、23日（土）、毎月恒例のサタデーアピール行動として新宿駅南口で白衣の宣伝・署名行動を行い、夜勤改善・大幅増員、署名など訴えました。

全体で18名が参加（うち東京医労連は7組合14名）。看護師等の大幅増員と夜勤改善を求める国会請願署名170筆、都立病院の医療の充実を求める署名54筆、計224筆、カンパ千円が寄せられました。



東京医療関連協では、ひきつづき、3月23日（土）午後2時30分から4時、春のナースウェーブとして、巣鴨地藏通り商店街付近での白衣宣伝行動を計画しています。



東京都議会に請願を提出

東京医療関連協は、現在開会中の東京都議会に対して「安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める」請願書を2月27日に提出しました。

請願は、①看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とし、労働環境を改

善すること、②医師・看護師・介護職員などを大幅に増やすこと、の2項目について国に意見書をあげてほしい、というもの。

昨年までは、東京医労連で提出していましたが、今回は、都立病院などの仲間も含めた東京医療関連協（太田トミ議長（都庁職病院支部））としての取り組みとなっています。

請願提出行動には、看護闘争委員会を中心に7名で各会派控室をまわり、事前に郵送した、同請願の紹介や賛同についての要請を行いました。

日本共産党と自治市民93の

計9名が紹介議員に

自治市民93の福士敬子都議、日本共産党から大山とも子都議（厚生委員）をはじめ8名のみなさん、計9名が紹介議員となっていたほかに、ネットワークみらいの都議3名からは、賛同の返答をいただきました。

厚生委員会での審議は

5月中下旬の見通し

請願は3月28日の都議会厚生委員会に付託され、5月中下旬に審議が行われる見通し。

東京医労連では、今後、都議会への傍聴などの組織に取り組みます。各組織からの積極的な参加をお願いします。